

文化財の見かた・楽しみ方 **20** ～目白小学校通学区域の巻～

目白小学校の通学区域には、学習院大学という大きな私立大学があります。学習院は明治10年(1877)に神田錦町で創立し、虎の門、四谷への移転を経て、明治41年(1908)に目白(北豊島郡高田村)に移転してきました。そして昭和24年(1949)に学習院大学が開学しました。

今回は、その学習院大学のなかにある2つの歴史的な建物について紹介していきます。

昭和2年(1927)に理科教室としてつくられた現在の南1号館と昭和5年(1930)に学生の教室としてつくられた現在の西1号館は、大正12年(1923)の関東大震災で木造校舎の一部が焼けてしまったことをきっかけに建設された、当時の雰囲気を伝える貴重な建物です。

この2つの建物は、ともに鉄筋コンクリートの建物で、とがったアーチ状の玄関や窓の形から、ヨーロップの建物のかざり方を取り入れたこともわかります。外の壁には、スクラッチタイルと呼ばれるタイルが貼られています。スクラッチタイルは、細いみぞがあるタイルで、外壁をつくる材料がレンガからタイルに変わる時期の素材として昭和のはじめごろに流行しました。建物の陰影が強調される点に特徴があります。

この2つの校舎は平成21年(2009)に、正門など、5つの建物と一緒に国登録有形文化財に登録され、今も勉強や研究を支え続けています。

今回紹介した南1号館と西1号館以外にも学習院大学の建物には、みどころがいっぱいあります。構内を歩いてみると、きっとたくさんの発見がありますよ。

- ・学習院目白キャンパス内の文化財見学をご希望の方は、学習院総合企画部広報課(03-5992-1008)へお問い合わせください。
- ・見学時間は9:00～16:00です。
- ・試験期間等、見学をお断りすることもあります。
- ・校舎建物内の立ち入りは原則禁止です。
- ・授業時間内の見学、散策はお静かにお願いいたします。
- ・写真撮影ができるのは、建物外観のみとなります。
- ・写真、文章などを掲載する場合には、事前に広報課へお知らせください。



▲ 学習院大学南1号館



▲ 学習院大学西1号館

お問合せ 庶務課文化財グループ 3981-1190

村山放課後対策課長の

つぶやき



今年度から放課後対策課長に着任いたしました。教育委員会は初めてで、毎日手探り状態ですが、職員一丸となって豊島区の子どもたちのために頑張っています。

さて、今この原稿を書いている隣で、小学1年生の姪が宿題を、保育園児の甥がレゴで遊んでいます。このあと近所のお友達も遊びに来るそうで、さながら学童クラブの状態。とてもにぎやかになりそうです。着任後、所管する子どもスキップ全施設を視察しましたが、今後も児童や保護者の皆様、職員の声を丁寧に聴きながら、安全・安心で子どもたちが自由に生き生きと過ごせる居場所の確保に努めてまいります。

ひとりじゃないよ 相談してね

豊島区ははじめ根絶に向けて「豊島区はじめ防止対策推進条例」を制定しています。

● 豊島区教育センター教育相談

名前を言わなくても相談できるよ。LGBTなどの相談もどうぞ。

03-3983-0094

開設日時:月～土曜日(祝日・年末年始を除く) 午前9時～12時、午後1時～5時

いじめなどで困っていたら

● 豊島区子ども家庭支援センター

保護者の方の子育てについての相談や、地域で気になるお子さんの相談もできます。子どもの悩みも相談できるよ。

東部子ども家庭支援センター **03-5980-5275、0120-618-471** (子ども専用)

西部子ども家庭支援センター **03-5966-3131**

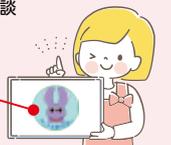
開設日時:月曜日～金曜日 午前9時～午後6時/土曜日:午前9時～午後5時

● 豊島区子ども若者総合相談「アシスとしま」

子どもからおおむね39歳までの若者の悩み、困りごとは「アシスとしま」へ!

03-4566-2476

受付日時:月曜日～金曜日
8時30分～16時30分
(祝日・年末年始を除く)



区立小・中学生限定! タブレットのアイコンから相談

● すずらんスマイルプロジェクト

生きづらさを感じる10代から20代の若い女性を支援するため、豊島区役所で生まれたプロジェクトです。どんなことでも大丈夫。あなたの“なんとなく”を聞かせてください。

詳しくはこちら▼

